

# 市議会 だより

令和5年3月定例会報告

鶴ヶ島市議会



障害のある人もない人も

ともに生きる

～ 条例制定への想いを伺いました～



障害者のコミュニケーション支援に関する条例に係る勉強会

## 目次

令和5年度当初予算特集	2
市の考えを問う 一般質問	6
提言書	12
3月定例会報告	13
委員会審査(条例)	15
委員会審査(補正予算)	15
◆一般会計・特別会計	
コミュニケーション支援・ 手話言語に関する条例の制定へ向けて	16

# 令和5年度 予算の注目点

## 全議員で委員会審査

※審査内容の詳細は4、5ページに掲載

鶴ヶ島中学校と西中学校の再編に向けた、鶴ヶ島中学校施設改修事業などを審査



鶴ヶ島中学校の校舎外観

国のコロナ禍関連支援施策が縮減方向にあるが、「支援の継続」をどう貫けるのか見守りたい。



太田忠芳 議員

未来へ襷をつないでいく自治体DX、重層的支援体制整備  
民間活力と市政躍進の取組



山中基充 議長

平和の尊さを深く認識し、未来に向かって平和な社会の尊さを市民に伝承する平和意識啓発事業



石塚節子 議員

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業での地域のにぎわい創出と暮らしへの配慮は



松尾孝彦 議員

子どものための予算  
チェック機関として注視



出雲敏太郎 議員

新規事業に期待  
少子化対策、温暖化対策、高齢者のためのデジタル支援などの取組の充実を



小林ひとみ 議員

鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業  
子どもから大人まで楽しめる環境に



内野嘉広 議員

持続可能な社会を目指す  
ゼロカーボン推進事業  
温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギーの普及



大野洋子 議員

令和5年度  
当初予算

一般会計

226億1000万円

特別会計(合計) 約128億9508万円

「アフターコロナへ!!」  
齊藤市長のリーダーシップ  
や市政への思いがみられ  
る予算か？



高橋剣二 議員

社会情勢の変化が激しい  
状況下、市の将来像の  
実現に向け、全力投球を



近藤英基 議員(監査委員)

魅力と活気あふれるまち  
づくり  
鶴ヶ島駅周辺まちづくり  
構想の推進！



大曽根英明 議員

鶴ヶ島市の目指す将来像  
は「しあわせ共感 安心  
のまち つるがしま」  
市長の選挙公約は  
「つるの駅」  
この関係は？



長谷川清 議員

西中学校、鶴ヶ島中学校  
の統合に向けた準備の始  
まり  
子どもにやさしいまちづ  
くりを目指して



漆畑和司 議員

小学校の校舎屋上防水な  
どを含む教育費が、前年  
度比15.2%増。  
学習環境の充実に期待！



持田靖明 議員

ポストコロナに向けた  
大きな転換点となる年!!  
「躍進」「支援の継続」  
「構造の転換」の3本の柱  
をしっかりと進めよ



金泉婦貴子 議員

『鶴ヶ島中学校と西中学校  
の再編』を見据え、鶴ヶ  
島中学校の校舎及び  
グラウンドなどの改修



小川 茂 議員

ポストコロナに向けた  
大きな転換点となる  
躍進、支援の継続、構造  
の転換の予算編成



藤原建志 議員

赤ちゃんお祝い!!  
子育て応援!!  
新公園整備!!  
避難所エアコン整備!!

期待



杉田恭之 議員

# ゼロカーボン推進事業 小・中学校水泳指導方法検討事業 など

一般会計予算 226億1000万円  
(前年度 219億9000万円)

令和5年度の鶴ヶ島市一般会計予算と特別会計予算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。  
委員会での審議結果は、いずれも「可決すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、可決されました。

## コミュニティ活動推進事業

### Q 自治会の活動状況は。

**A** 自治会では、自治会集会所などで会員による様々なサークル活動、介護予防体操、サロン活動などを行っている。今後も自治会活動の一環として、自治会集会所などを積極的に活用し、身近な地域で気軽に集まれる活動を進め、会員の健康づくりや退会者の抑制などにつなげていきたい。

## 広報つるがしま発行事業

### Q 点字広報及び声の広報の他市町村の発行状況は。

**A** 元年度の調査では、点字広報は16市町、声の広報は46市町で発行しており、両方発行している本市は、充実している。

## 庁舎維持管理事業

### Q 庁舎における光熱水費の状況は。

**A** 4年度予算と比較し、5年

度は電気代が2・22倍、ガス代が2・81倍増で、水道代は若干の減で計上している。電力自由化の状況を情報収集し、今後より経費が抑えられるよう検討していく。



## 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業

### Q 現状の取組状況と今後の見通しについて。

**A** 4年度は地域住民や関係団体から課題やニーズを把握するため、説明会、市民アンケート、ワークショップなどを行った。年度内に構想策定し、5年度は構想に基づく具体的な整備計画の策定に取り組む。

## 避難行動要支援者地理情報活用事業

### Q 具体的な活用方法は。

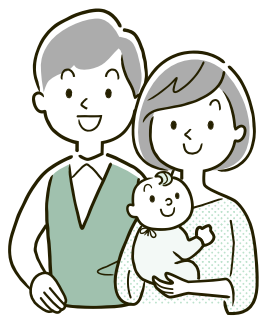
**A** 既存の統合型地理情報システムに避難行動要支援者名簿を取り込み可視化することで、平常時の見守り支援や災害時の

迅速な対応につなげられるよう活用していきたい。また、個別避難計画の策定にも活用していきたい。

## ふるさと鶴ヶ島誕生祝い事業

### Q 多子世帯応援事業から変更した経緯について。

**A** 県の補助事業が第一子からの支援に見直されたことや国が出生・子育て応援交付金を開始したことから、本市でも鶴ヶ島で生まれた全ての子どもを対象とすることで、ふるさとに愛着が持てるお祝い品に変更した。



## 健康長寿推進事業

### Q 拡充した内容は。

**A** スマホ教室を全ての市民センターを会場として、7月、10月、2月に開催する。また、シルバースポーツの体験支援及びニーズが高いスマホよろず

相談の充実を図るため、「シルバースポーツ・デジタル支援員」を養成し、各市民センターなどに派遣する。

## がん予防対策事業

### Q 申込方法を変更するメリットは。

**A** コールセンター及びウェブシステムによる申込みに変更することにより、本人が希望する受診日、受けられるがん検診の種類などがその場で決定できる。また、ウェブシステムでは、受診日が近づいた際にメールが届き、忘れ防止や受診勧奨につながる。

## ゼロカーボン推進事業

### Q 事業の効果は。

**A** ポータブル蓄電池の購入及び冷蔵庫、LED照明機器への買い替えとヘチマを活用した緑のカーテンの設置で見込める温室効果ガスの削減量が約117・9トンと効果としては非常に小さいが、一人一人がゼロカーボンに向けて動き出すきっかけづくりにしたい。

### Q 市民が理解し、行動に移してもらうための取組は。

**A** ヘチマを緑のカーテンとして育て、暑熱対策、省エネ、

マイクロプラスチックの削減など環境意識の向上に努める。



緑のカーテンのヘチマ

### 企業立地雇用等促進奨励事業

Q 奨励金交付の今後の見込みは。

A 市内で事業所を新設する企業は、株式会社IHIの南側の産業用地に4社が内定している。株式会社関水金属も新工場を建設し、規模を拡大する。市民の雇用機会の拡大及び定住の促進を図るため、積極的に制度活用について働きかけていく。

### 鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業

Q 施設整備への考え方は。

A 管理棟は、スポーツ団体やボランティアで作業していただいている環境団体の会議や休憩場所として活用できるよう事務スペース及び会議スペースと倉庫機能を考えている。

Q 夜間照明灯の環境への影響は。

A 周辺の生態系への配慮は地域の方と話し合いながら進めていきたい。特に蛍の発生時期、発生場所への影響は、慎重に対応策を検討する。

### 災害対策事業

Q 内水と防災ハザードマップを1冊にまとめることだが、地域に向いて説明を行う考えは。

A まちづくり市民講座など、説明する機会を通じて、積極的に行ってきたい。

### 避難所環境改善対策事業

Q 体育館への空調設置の現状と小学校への設置は。

A 4年度、鶴ヶ島中学校に設置した。5年度は藤中学校及び富士見中学校に設置し、6年度に西中学校及び南中学校に設置するための予算を計上している。小学校への設置については現時点で未定である。

### 小・中学校水泳指導方法検討事業

Q 事業検討の経緯は。

A 子どもの泳ぐ力が年々低下していること、天候に左右

され計画的な授業が難しいこと、プールの日常的な点検や清掃など教員への負担が大きいことなどから、水泳指導のあり方について検討する時期と考え、今回事業を計画した。

Q 移動手段について。

A 施設が用意するバスで送迎する予定である。



### 学校給食運営事業

Q 食材費と価格高騰について。

A 昨今の物価上昇により、食材費が11〜12%程度値上がりしている。特に油や主食であるパン、麺などが高騰している。



## 特別会計予算 ( ) は、前年度予算額

国民健康保険 66億6653万円 (66億9105万円)

後期高齢者医療 11億196万円 (10億1100万円)

介護保険 48億5889万円 (45億9790万円)

一本松土地区画整理事業 8572万円 (1億2560万円)

若葉駅西口土地区画整理事業 1億8198万円 (3億1420万円)

### 国民健康保険

Q 出産育児一時金のここ数年の状況は。

A 国民健康保険の被保険者が出産した際に支給し、30年度が46件、元年度が48件、2年度が41件、3年度が28件、4年度は1月末までに、36件である。

### 後期高齢者医療

Q 被保険者数の動向は。

A 30年度から5年度まで、年間平均で541人の増加である。4年度から団塊の世代が後期高齢者となり、7年度まで増加が続く見込みである。

### 介護保険

Q 第9期介護保険事業計画策定への備えは。

A 高齢者へのアンケート調査や各介護保険事業者へのヒアリング調査などの結果から、これまでのサービスの状況、施設整備の必要性などを精査し、作成していく。



# 市の考えを問う 一般質問

3月13日・14日・16日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。

## Q マイナ保険証の利用で医療は保障されるか

おおた ただよし  
太田 忠芳 議員



## A 保険診療を受ける権利を損なうことのないよう準備する



**問** マイナンバーカードを紛失したらどうすればよいか。  
**答** マイナンバー総合フリーダイヤルに電話をすると、利用停止ができる。その後、市役所に再発行の問合せをしていただく。  
**問** マイナ保険証を再発行するには1〜2か月かかり、その間医療が受けられないのではないか。  
**答** カード取得までの期間が課題であるという認識の下、長くても10日間程度とする検討をしていると聞いている。  
**問** マイナカードを保険証として登録するにはどうすれば。  
**答** マイナポータルで利用登録をすると使えるようになる。  
**問** マイナカードを保険証として使えるかをどう把握するのか。  
**答** 医療保険者などに向けた中間サーバーから情報を得る。  
**問** マイナ保険証は登録されれば、そのまま保険証として使えるが、紙の保険証は期限切れの前に役所で手続をしないと使えなくなるのではないか。また、申請しないと発行されないのか。  
**答** 原則、令和6年の秋に健康保険証が廃止されるが、現在の紙の保険証も経過措置で1年間は有効となる予定である。マイナ保険証を利用しない方は、申請により資格確認書を発行する。



福島県内の除染土の集積場所

**問** 環境省は、東京電力福島第一原発事故後の除染で出た汚染土に関して、公共事業で利用可能の方針を出し、多くの意見を受けて改正を見送ったが、その後も検討を続けている。  
5年2月、埼玉県所沢市で福島県外初の実証試験の計画に、周辺の自治会が反対を決議した。同月末の市民集會に参加した福島県双葉町の方は、「所沢が引き

受けたら、除染土は全国に持っていかれる。私達はこの土を持っていてほしいなんて思っていない、どんなことをしても反対を」と発言した。  
除染土壌の再利用は止めるべきである。

**答** 環境省の実証事業の候補地の一つに所沢市内の国が管理する施設が上がった。芝生広場の再生利用を行い、国民理解の醸成ツールとしても活用する計画である。現在進行中の除去土壌の再利用については安全性が十分判断ができない状況にある。今後の最終的な結論は、市にも情報はない。引き続き、国の動向を注視し、情報収集に努める。

◎その他の質問  
一 子どもたちと協働するまちづくり  
二 障がい者の卒業後の夕方支援について

## Q 除染土壌の再利用は止めて

おおの ひろこ  
大野 洋子 議員



## A 引き続き、国の動向を注視する

## Q 地域での子ども 活動支援について

おがわ  
小川 茂 議員



## A 青少年の健全育成のための 活動に取り組む

**問** 青少年健全育成推進協議会の活動状況と今後の課題は。

**答** 中学校区ごとに設けられた5つの各地区青少年健全育成推進協議会と鶴ヶ島市青少年健全育成連絡協議会が、連携を取りながら、青少年の健全育成のための活動に取り組んでいる。

青少年を取り巻く問題は多様化し、多くの課題が生じている。これまでも課題とされていた家族間のコミュニケーションの減少や地域における人間関係の希薄化、インターネットやSNS上のトラブルなどの問題は、

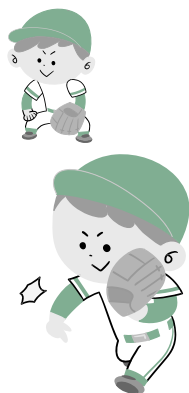
誌の発行、地域における交流事業など青少年の育成と安全な地域づくりのための活動に取り組んでいる。

青少年を取り巻く問題は多様化し、多くの課題が生じている。これまでも課題とされていた家族間のコミュニケーションの減少や地域における人間関係の希薄化、インターネットやSNS上のトラブルなどの問題は、

誌の発行、地域における交流事業など青少年の育成と安全な地域づくりのための活動に取り組んでいる。

青少年を取り巻く問題は多様化し、多くの課題が生じている。これまでも課題とされていた家族間のコミュニケーションの減少や地域における人間関係の希薄化、インターネットやSNS上のトラブルなどの問題は、

誌の発行、地域における交流事業など青少年の育成と安全な地域づくりのための活動に取り組んでいる。



コロナ禍の影響によりさらに深刻さを増している。

こうした状況を踏まえ、青少年健全育成連絡協議会では、初めて昨年の産業まつりでインターネットやSNSに潜む危険性についての啓発グッズを配布する活動を行った。

今後も啓発活動や朝の声掛け運動などにより、本市の次の世代を担う青少年の健全な育成に取り組んでいく。

## Q 自治会運営と市の役割 について

こばやし  
小林ひとみ 議員



## A 自治会を中心とした地域の共助の 仕組みが維持できるよう支援

**問** 自治会加入率の推移は。

**答** 役員になることへの負担感、生活様式の多様化、価値観の変化などによる加入世帯の減少のほか、高齢化や分母となる世帯数の増加などにより、加入率は低下する傾向にある。

**問** 自治会のIT化の推進に対する支援は。

**答** コロナ禍での対応のみならず、現役世代や若者の参加を促し、役員負担の軽減を図る上でも必要になる。先進事例などを研究し、鶴ヶ島市コミュニティ協議会に情報提供していきたい。

**問** 自治会活動の活性化に関する条例を制定する考えは。

**答** 他市の条例における「地域



市による新事業提案eスポーツの様子

住民の理解と関心を深め、自治会活動への一層の参加を促進するために必要な支援を講ずる」等の事項は、活動の活性化に向けた自治会との関わり方として重要である。先行市町の評価や効果などを含めて研究していく。

**問** 自治会に対する市の役割は。

**答** 財政的な支援のほか、自治会の意義の周知、身近な市民センターによる支援、新たな取組の提案などを行い、自治会を中心とした地域の共助の仕組みが維持できるよう支援していく。

◎その他の質問 一時預かり保育の充実を

Q

## 交通安全対策の強化について

おおそねひであき  
大曾根英明 議員



A

## 安心安全な交通環境の整備を推進していく

**問** 事故発生箇所の把握と対策について。

**答** 警察や消防及び地域住民などの情報や埼玉県警察のホームページの交通事故発生状況マップなどで把握している。死亡事故など重大事故の発生を把握した際は、速やかに現地に出向き、事故状況を確認するほか、西入間警察署や関係課との合同による現場診断を行う。具体的な対策を検討して、事故発生箇所の安全確保に努めている。

**問** 信号機や横断歩道などの配備について。

**答** 信号機や横断歩道の配備は交通規制を伴うため、警察の管轄となることから、埼玉県公安委員会が行う。要望があった場合には、地域の総意として自治



会から要望書をいただき、市として西入間警察署に要望書を出している。

**問** 歩道の確保について。

**答** 道路交通において歩道を設置し、歩行者の安全を確保することは、重要な取組である。現在、173路線、延長約59キロメートルの整備を実施してきた。歩道用地の確保が困難な道路は、車道幅員を狭くし、路肩部分に余裕を持たせ、歩行空間の確保に努めている。

A

## 発達段階に応じた学びを通して、暮らしや社会を考える機会にする

Q

## 金融教育の取組について

かないすみふきこ  
金泉婦貴子 議員



**問** 小・中学校における取組状況は。

**答** 小学校低学年では、子どもが店員と客になり、いわゆるお店屋さんごっこをする。中学年では、まち探検を行い、店の方の工夫や努力を知って、働くこととの大切さを学んでいる。高学年では、家庭における収入と支

出を例に予算を考えて、計画的に必要な品物を選び、お金の適切な使い方を学んでいる。中学校では、社会科で金融機関の種類や機能について学び、経済との関連を学んでいる。

**問** 幼児期での取組は。

**答** 幼児期の発達段階を踏まえ、遊びや活動の体験を通してお金

の大切さを学んでいる。

**問** 今、なぜ金融教育が必要なのか。

**答** デジタル化の進展により、「見えないお金」を使う機会が増えている。このような時代だからこそ、金銭感覚を養い、トラブルに遭わないように、お金の役割と金融について学ぶ必要がある。

### ◎その他の質問

- 一 第2期鶴ヶ島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標について
- 二 検討事項等について





## Q 地域の絆づくりと自治会の再生について

うちの  
内野 嘉広 議員



## A 地域の絆づくりを支援していく

**問** 自治会の加入率の現状は。

コミュニティ協議会が市と共催

**答** 高齢化と役員になることへの負担感による退会などから低下傾向にある。

してシルバーeスポーツ講演会・体験会を開催したが、このような新しい取組により、活動の活性化や地域の交流の促進を図ることが必要である。

**問** 地域の絆づくりをどう捉えているのか。

自治会員であることのメリットは。

**答** 誰もが安心して暮らしていくために地域の絆は欠かせないものであり、自治会などの地域活動団体のイベントや活動が重要な役割を担うと考えている。

自治会員が協賛店から特典を受けられる自治会員優待カード（愛称Sampoカード）を



eスポーツによる世代間交流

## Q 市民の命を守るために

いずもびんたろう  
出雲敏太郎 議員



## A 防災情報を周知していく

推進するほか、自治会が地域で安心して暮らすために必要な組織であることを伝えていく。  
**問** 自治会問題について、市が中心となり、商工会など各種団体とお得感を創出するWIN-WINの関係構築を築けるような考えは。

**答** 企業や各種団体など多方面にわたって連携をしながら、自治会加入促進に向けた検討を進めていきたい。



### ひょうそう じばんぞうふくりつ 表層地盤増幅率：

表層地盤の地震時の揺れの大きさを数値化したもので、地震に対する地盤の弱さを示す。数値が大きいほど地盤は弱く揺れは大きくなる。一般に1.5を超えれば要注意で、2.0以上の場合強い揺れへの備えが必要であるとされる。

市民の生命を守るという観点から、災害対策と交通安全対策について伺う。

**問** 当市の表層地盤増幅率は1.5を超え、地震で揺れやすい。特に寝室の家具固定の周知を。

**答** 来年度にハザードマップの改定を予定しており、それを機に全世帯に周知したい。  
**問** 様々なメディアを活用して交通ルールの周知徹底を。

**答** 地震は、本市においても注意が必要な災害の一つである。家具の固定で圧死等によるリスク軽減を周知していきたい。

**答** 繰り返し啓発活動を続けていきたい。

**問** 避難所運営主体は。

**問** 自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化される。購入時における助成を。

**答** 地域住民である。

**答** ヘルメット着用の目的などを啓発・周知していきたい。

**問** 地域との連絡方法は。

◎**その他の質問**

**答** 市民センターを通しての情報伝達を想定している。

一 部活動改革の推進について  
二 起業・創業支援の拡充を

**問** 災害時の避難所運営主体や地域との連絡方法を知らない人



## 新型コロナウイルス 対策の転換期は

まつお たかひこ  
松尾 孝彦 議員



## 状況に応じた対応をする



**問** 定期接種、医療費の自己負担について。

**答** 令和5年度のコロナワクチン接種は、特例臨時接種を延長し、引き続き自己負担なく受けられるようにすることとなった。本市でも決定した方針に基づき接種体制などを整え、広報やホームページなどで周知していく。医療費は、現在、初診料など一部を自己負担しており、今まで公費負担の対象であった外来や入院での検査や医療費は、5類変更後、原則として通常の保険診療と決定した。ただし、9月末までは高額な治療薬は公費負担とし、入院も高額な場合は軽減措置を実施する。

**問** イベントや外出自粛などの制限について。

**答** 市主催イベントは、市イベント開催に関する基本方針に基づいて、開催の可否を判断している。今後もイベント開催やマスキングの着用などについて、国や県の動向を注視し、状況に応じた対応を行っていく。

### ◎その他の質問

- 一 発達性読み書き障害（ディスレクシア）の対応について
- 二 電線への樹木の接触について
- 三 今後のシティプロモーションについて



より良い「つるがしま」  
を目指して

もちだ やすあき  
持田 靖明 議員



全ての部署が全力で行政の  
サイクルを回らせていく

**問** 鶴ヶ島に「住んでいて良かった」、鶴ヶ島に「住みたい」と思うまちにするには。

**答** 総合政策部では、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり構想や市民センターを拠点とした市民を支えるまちづくりを進めていく。総務部では、防災・減災を推進し、市民一人ひとりが安心し

て暮らせるまちづくりを進める。市民生活部では、地域活動や防犯、環境整備、地域ブランドの発信など、活力にあふれ魅力とにぎわいのあるまちを目指す。

福祉部では、地域福祉、障害者福祉、子ども子育て家庭への支援、保育の充実など、安心して暮らせるまちを目指す。



健康部では、妊娠・出産に係る母子への支援や一人ひとりの健康維持など、乳児から高齢者まで全ての方を対象とした、生き生きと暮らせるまちを目指す。都市整備部では、都市基盤の整備と併せて魅力の創出にも取り組み、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを推進する。また、道路の環境整備により、市民の満足度を高め、整備拡充に取り組む。

教育委員会では、新しい時代を生きるための教育の充実や基礎的な力を身に付けるための教育を支援する。

## Q 市長公約と市民要望 の関係について

はせがわ きよし  
長谷川 清 議員



## A (仮称)「つるの駅」構想の目的 は鶴ヶ島市の人口対策

**問** 市長公約である(仮称)「つるの駅」構想と(仮称)「Nゲージとガーデンパーク構想」は誰のための何のための構想か。

**答** 市民のための人口減少対策及び地方創生を目指す取組であり、市の重要な取組として位置付けている。

**問** 第6次鶴ヶ島市総合計画の中で示されている施策の市民満足度及び重要度に公約に該当す

る項目はないが。

**答** 取り組みべき事業の優先度は、「重要度が高く、市民満足度が低い」事業である。しかし、

市民からの重要度が低くても行う必要がある事業もある。その中で、人口減少対策として一番効果があり、将来の財政負担を

考えて、民間活力を導入して実施する事業である。

**問** 何人の人口増を目指すのか。



(仮称)「つるの駅」構想予定地

**答** Nゲージとガーデンパーク構想は、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりとして取組を進めている段階であり、現時点では両事業とも具体的な想定はない。

**問** 市の最重要課題の構想中に企業は用地買収を始めてしまうのか。

**答** 「つるの駅」構想は民間事業として地権者の合意を経て構想を具体化するものであり、市が用地買収するものではない。

## Q 子どもたちの命と安全を守るために

いしづか せつこ  
石塚 節子 議員



## A 保育士の配置は国の基準より手厚くしている

**問** 市内保育所の事故例と件数は。

**答** 保育所などで事故が発生した場合は、速やかに市に報告を行うよう条例に定めている。報告を要する事故の範囲は、死亡事故及び治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故などであり、これまで、該当する事故の報告はない。

**問** 市の保育士の配置基準及び近隣市の状況は。

**答** 本市の配置基準は、1歳児と3歳児を国の配置基準よりも手厚くし、1歳児は子ども4人に対して保育士1人、3歳児は15人に対して保育士1人としている。西部10市では、国の配置



**問** 基準よりも手厚くしている市が8市、国と同じ配置基準としている市が2市である。

**問** 専門性を高める研修は。

**答** 国のキャリアアップ研修や県・各保育関係団体が主催する専門研修などを周知している。

**問** コロナ禍の状況は。

**答** 通常業務に加え、おもちゃや机などの頻繁な消毒など新型コロナウイルスの影響で業務が増えている。市では業務負担の軽減を図るため、周辺業務を行う保育支援員を配置する費用に補助金を交付することで支援している。



一本松駅南口駅前交通広場

## Q 西部地域の課題について

うるしばた かずし  
漆畑 和司 議員



## A 西部地域発展に資する重要な事業を着実に進めていく

**問** 児童保育の充実について。  
**答** ここ数年、長久保小学校、南小学校、藤小学校、栄小学校の4つの小学校区に係る児童保育室において施設を整備し、利用者の増加などに対応してきた。今年度は、新町小学校区児童保育室ひまわりクラブについて、小学校敷地外にあった既存の3施設を小学校敷地内の増設校舎を改修、整備することで統合し、安全性や利便性の向上を図った。

**問** 西中学校の夜間照明設置は。  
**答** 令和5年度から6年度まで、西中学校活用推進事業を予算化し、複合化施設に向けた基本構想を策定していく。その中で、西中学校のグラウンド利用や夜間照明の設置も検討していきたい。

**問** 一斉清掃の特徴について。  
**答** 地域清掃への参加率は高く、公園や遊水池のほか、道路や側溝、水路なども含めて清掃箇所は多岐にわたり、地域内の環境美化への意識の高さが見られる。今後も多くの市民や団体、事業者が参加しやすい環境整備に努める。

**問** 一本松駅南口について。  
**答** 東武鉄道株式会社に対して、無人の改札口を開設してほしい旨を継続して要望しており、今後も協議を行っていく。

### 次回定例会のお知らせ

次回の令和5年第2回定例会は、6月6日(火)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>

鶴ヶ島市議会

検索



### 提言書

1 (仮称)「つるの駅」構想は、本市における活気とにぎわいのある憩いの拠点の創出を目的とするものであることから、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々が集まれるように考慮すること。また、配置する施設については、地域資源の活用を考慮しつつ、特色があり魅力あふれる物販や飲食店が展開されるよう事業者との調整を進めること。

なお、当該地域のみでの活性化だけでなく、市内全域で相乗効果が得られ、市民だれもがその効果を実感できるものとなるよう取り組むこと。

2 進捗状況に応じた説明は、地権者や近隣住民といった近隣関係者だけでなく、市内商工業事業者についても幅広く周知することを事業者へ要望し、地域産業の活性化につなげるとともに、周辺の自然環境への影響についても配慮するよう要望すること。

3 本構想エリアは、圏央鶴ヶ島インターチェンジからほど近く、交通量の増加が予測されることから、生活道路を含めた周辺道路の安全対策並びに渋滞対策を講じること。

4 (仮称)「つるの駅」が、永く市民の憩いの場となるよう、官民連携ゾーンの充実を図るとともに、さらに本構想エリアを充実させるために、鶴ヶ島市運動公園等周辺施設との連携を進めること。

令和4年第4回定例会において設置した本委員会は、5年3月20日に提言書を市長に提出し、終了しました。

(仮称)「つるの駅」  
構想に係る調査  
特別委員会の報告







# 委員会審査

## 条例等

議案第10号  
鶴ヶ島市市民協働推進基金条例を廃止する条例について

取崩しにより、市民協働を推進するための財源としての基金の役割を終えることに伴い、鶴ヶ島市市民協働推進基金を廃止するものです。

議案第11号  
鶴ヶ島市個人番号の利用の範囲及び特定個人情報提供の制限に関する条例の一部を改正する条例について

生活に困窮する外国人の保護の決定及び実施又は徴収金の徴収に関する事務を特定個人情報を利用して行うものです。

Q 外国人が生活保護認定に至る経緯について。

A 日本人と同じく、直接の相談や生活サポートセンターからの紹介などによる。

議案第12号  
鶴ヶ島市ともに生きるやさしさのあるまちを目指す障害者のコミュニケーション支援条例について

障害の特性に応じた情報の取得及びコミュニケーション手段を利用しやすい環境の整備をすることに、全ての市民が互いの人格と個性を尊重し支え合

う共生社会を実現するものです。

権限の濫用禁止の規定の削除等するものです。

ものです。

Q 当事者の具体的な要望は。

A 条例の理念を広く周知することや、手話通訳者など障害者を支援する人材を養成してほしいなどの意見があった。

議案第13号  
鶴ヶ島市手話言語条例について

手話が言語であることの理解促進及び手話の普及を図ることにより、全ての市民が互いの人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現するものです。

議案第14号  
鶴ヶ島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、安全計画及び非常時における業務継続計画の策定並びに自動車を行う場合の所在の確認に関する規定を追加等するものです。

議案第15号  
鶴ヶ島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、安全計画の策定及び自動車を行う場合の所在の確認に関する規定の追加、懲戒に係

鶴ヶ島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、懲戒に係る権限の濫用禁止の規定を削除等するものです。

議案第17号  
鶴ヶ島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者に係る出産育児一時金の額を引上げるものです。



議案第18号  
鶴ヶ島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る賦課限度額を引上げるものです。

議案第19号  
鶴ヶ島市都市公園条例の一部を改正する条例について

鶴ヶ島グリーンパークの施設整備に伴い、多目的広場1及び多目的広場2の使用料を定める



鶴ヶ島グリーンパーク

議案第20号  
鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について

建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令の一部改正に伴い、低炭素建築物新築等計画の認定の申請に対する審査等に係る手数料を改正するものです。

議案第33号  
字の区域の廃止及び字の区域の変更について

坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業の施行に伴い、字の区域の廃止及び字の区域を変更するものです。

議案第34号  
町の区域を新たに画することに

坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業の施行に伴い、町の区域を新たに画するものです。



令和4年度の一般会計補正予算1件及び特別会計補正予算5

件が可決されました。

### 一般会計(第9号)

#### 保育環境改善事業

Q 送迎用バスの安全対策は

A 乗降時の点呼、目視に加え、ブザーなどの安全装置の設置を行う。市の補助の対象外の施設は、埼玉県などが対応する。

#### 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計財政調整基金積立金に要する経費等を補正するものです。

#### 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金に要する経費を補正するものです。

#### 介護保険特別会計

介護給付費準備基金積立金に要する経費等を補正するものです。

#### 一本松土地区画整理事業特別会計

土地区画整理事業に要する経費を補正するものです。

#### 若葉駅西口土地区画整理事業特別会計

土地区画整理事業に要する経費を補正するものです。



鶴ヶ島市聴力障害者会の活動 (障害者交流フェスティバル)

### コミュニケーション支援及び手話言語に関する条例制定へ向けて

障害のある人となない人が、お互いを理解していくためには、よりよいコミュニケーションをとれる環境が必要です。誰もが住みやすい共生社会をつくっていくために、条例制定は、その第一歩となることが期待されています。

令和4年11月28日に「鶴ヶ島市とともに生きるやさしさのあるまちを目指す障害者のコミュニケーション支援条例」及び「鶴ヶ島市手話言語条例」の制定について、「障害者のコミュニケーション支援に関する検討会」に参加されている方々から話を伺いました。

### ● 鶴ヶ島市視覚障がい者の会アインネットさん

デジタル技術が進歩していますが、視覚障害者たちはスマートフォンや駅での発券機、銀行のATMの操作などのタッチパネルが使えずに困っています。外出の支援やスマートフォンなどの操作を教えられる人材が必要ですが、支援するスタッフも高齢化し、減少していることが心配です。



### ● 鶴ヶ島市聴力障害者会さん

日本では、2011年に障害者基本法が改正され、言語に手話を含む、と条文の一節に盛り込まれました。

これからの聞こえない子どもたちは、手話を活用し楽しく生活できるようにと考えています。今回の条例制定により、コミュニケーションがスムーズに行われ、みんなが生き生きとした鶴ヶ島になると信じています。

### ● 高次脳機能障害を支える会こもれびさん

高次脳機能障害という障害があるということが、まだ知られ

ていません。例えば、交通事故などで脳に損傷を受けたことで、身体が回復しても生活に支障が生じ、家族や当事者も全くわからないまま、社会復帰すること難しく苦しんでいます。当事者だけでなく、家族全体を支援していただきたいです。

### ● 知的障害を理解しよう! Den & Denさん

養育者も病気や高齢化で心配を抱えています。一人で外出する際の法的サービスや、成人を迎えた知的障害者が市のイベントなどに参加できる支援体制が必要ですが、また、知的障害の人と一緒に活動してくれる人を養成するボランティア講座があればと思います。

### ● 皆さんの想いから

5年度に第4期障害者支援計画の見直しが行われます。条例の趣旨を踏まえた計画や事業が展開していくことを願います。

### ● 参加したメンバーの方々

一児島成子さん、山田茂さん、長岡保さん、鈴木正弘さん、小出真一郎さん、大澤重敏さん、中里由架利さん、草嶋克枝さん、五月女芳子さん

## 編集後記

ことのほか寒い日が続いた冬も過ぎ去り、花々たちの出番がやって来しました。そして、ピカピカの一年生に出会えることが楽しみです。

4月に市議会議員選挙が行われました。鶴ヶ島市議会は、新しい議員により、市の将来に向け、市民の皆さんが「この街が大好き。この街に暮らして良かった。」と思えるように、福祉、教育、道路整備などのまちづくりを進めます。ご意見ご要望など気軽にお寄せください。

今回の市議会だよりは、「令和5年度予算」について、各議員による注目を掲載しました。(石塚)

### (広報広聴委員)

- 委員長 大野洋子
- 副委員長 内野嘉広
- 委員 松尾孝彦
- 委員 小林ひとみ
- 委員 太田忠芳
- 委員 石塚節子
- 委員 持田靖明
- 委員 杉田恭之